

絞り・ズーム・フォーカス 合わせ

ズームレンズ

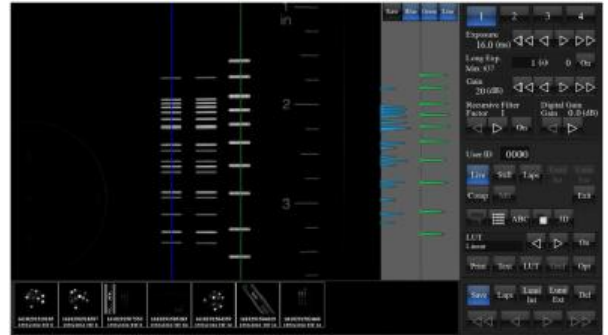


絞り
(推奨設定 2)
ズーム
フォーカス

単焦点レンズ



初期画面



撮影・保存・プリント

メインパネル



メモリー
露光時間
長時間露光
ゲイン
ノイズ除去フィルター
デジタルゲイン
ID設定
撮影モード切替
画像操作
補助機能切替
カンマ補正
画像印刷加工
画像保存フォルダ切替
サムネイル画像送り

撮影手順

準備

- 1、 レンズ絞りを2に合わせます。
- 2、 ズームでゲルの大きさを合わせます。
- 3、 フォーカスを合わせます。
- 4、 Gainを8に合わせます。

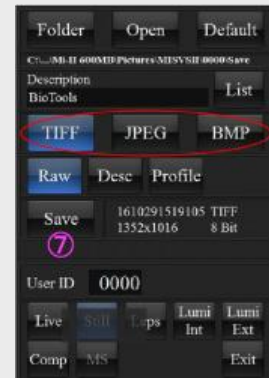
撮影

- 5、 Exposureで明るさを合わせます。
- 6、 Stillをタッチして保存パネルを開きます。
- 7、 Saveをタッチして保存します。

Exposureと Gainの設定



保存パネル



保存フォーマットの選択

Saveをタッチして保存

プリント画面



プリント手順

- 1、 Stillをタッチしてから Printをタッチしてプリントパネルを開きます。
- 2、 Printerをタッチして選択します。
- 3、 Printをタッチすると印刷されます。

プリントパネル

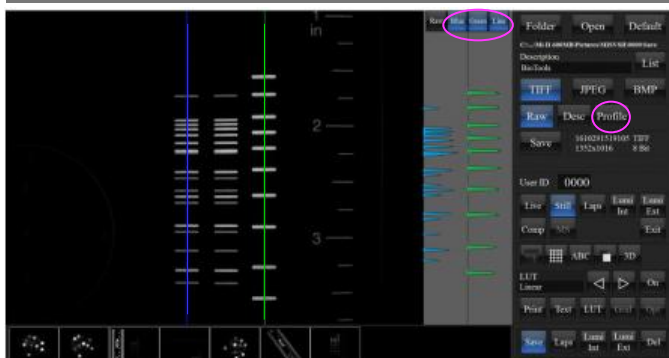


* 保存済み画像の印刷は、サムネイル表示エリア から画像を選んでダブルタッチで選択してプリントします。

定量性を持たせた撮影

- 1、リアルタイムダイナミックレンジ表示
- 2、サチュレーション表示
- 3、グリッド表示
- 4、3D表示

1、リアルタイムダイナミックレンジ表示



ライブ画像でも表示でき、シグナル強度を視覚的に確認できます。

目的のバンドの強さ（明るさ）を確認することができます。リアルタイムで指示線上のダイナミックレンジ（輝度値）をグラフ化して表示できます。

目的のバンドを一番良い状態で撮影できます。

Blue : ダイナミックレンジ表示1

Green : ダイナミックレンジ表示2

表示1ブルー線は、Blueボタンをタッチして表示させます。

線の移動は画面のタッチやドラッグにより行います。

表示2グリーンは、Greenボタンをタッチして表示させます。

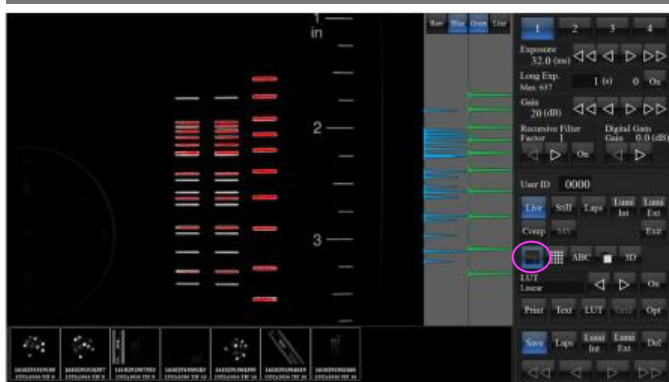
2本を表示させた場合の指示線の移動は、

画面半分から上がブルー線・下がグリーン線となります。

指示線の表示非表示、分離グラフ・重ねグラフの切替が可能。

* Profilをタッチして数値データを書き出すことができます。

2、サチュレーション表示



オーバー露光部分を赤反転させて確認することができます。

ライブ画像や保存された画像でも表示できます。

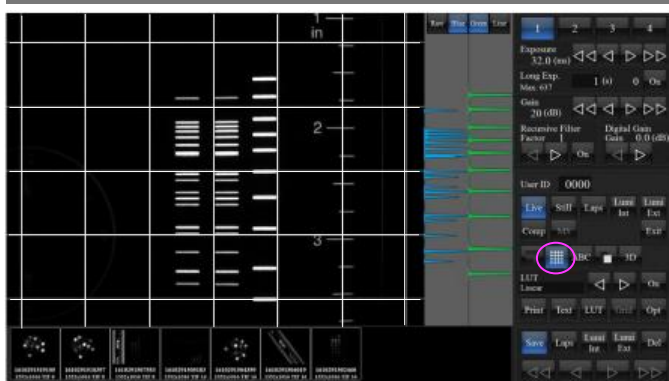
タッチでon、もう一度タッチでoffとなります。

サチュレーション表示 記入文字表示 3D表示



グリッド表示 白黒反転

3、グリッド表示



発表用の写真など、まっすぐに撮影したい時に表示します。撮影画像には反映されません。

ライブ画像や保存された画像にグリッドを表示できます。

タッチでon、もう一度タッチでoffとなります。

4、IDによるユーザー管理



4桁のUserIDを付けると、ID専用のソフトウェアとして機能します。メモリーを含めて、全ての設定をIDごとに管理することができます。画像の保存フォルダもUserIDごとに管理され、混在することはありません。

UserIDの設定と呼出

- 1、数字の部分タッチします。
- 2、操作パネルが開きますので、数字を入力してIDを決めます。
- 3、Entタッチして決定します。

* 決定と同時に入力した数字に対応したフォルダが作られ、ID番号に付随したソフトウェアとなります。

- 4、IDの呼び出しも同様に行います。